



須留が峰

令和5年度
No.13

HPアドレス <http://yabuboard.ed.jp/yabu-jhs/>

 令和5年8月31日発行



スロースタートをしてみて

昨年度までコロナ禍の影響により実施できなかった「2学期のスロースタート」をこのたび試行的に実施しましたが、いかがでしたでしょうか。期間中、夕方に校門付近で水やりをしていると、自転車に乗って遊びから帰ってくる生徒たちの楽しそうな姿や、家の周辺でバスケットをしたりランニングをしたりしている生徒の姿を見たりすると、「やっぱりこんな時間も時々は必要だよ」と思います。

学期中は部活動もあり、帰宅してからも課題や手伝い、夕食、入浴、そして早めの就寝などで、もしかして「自分時間がなかなかとれない」と、ぼやきがちな生徒もいることでしょう。2学期の始業式を迎えたとはいえ、学校でいきなりフルでの1日を過ごすのではなく、自分時間も確保しながら少しずつ夏休みをフェードアウトし、2学期のフルバージョンに向けて心身を馴染ませていく今回のスロースタートの試みは意義あるものだったのではないかととらえています。

ずっと以前ならば、明日9月1日が2学期の始まりでした。なので、私自身の子どもの頃の経験にあてはめてみても、この8月31日はとにかく大変な1日でした。その頃を思い返すたびに、今、この8月31日を落ち着いて迎えていることに妙な不思議さを感じる事が時々あります。それはさておき・・・



<朝練習に励む陸上競技部>

朝早くにお子様を学校に送っていただき、ありがとうございます。

夏休みの期間が長いとか短いとかは、人それぞれの方・考え方によるものなのではないかと、先日の始業式で生徒たちに問いかけました。そして大切なのは、いかに上手に自分を2学期にシフトさせていくかであり、自分にとって「学びがい」があり「活動しがい」のある学校生活をどのように創り上げていくか、その創り上げていく過程に「楽しさ」を感じてほしい、そこに自分自身を

成長させるエッセンスがあるということを話しました。「楽しい学校」として、学校にエンターテイメントを求められても、自己中心的な気分や思いの発散を求められても、叶えることなどできません。学校での「楽しさ」とは何なのか。この2学期に実施する体育大会や文化祭、新人戦、生徒会活動や定期テスト等を通じて、生徒たちに今一度考えてみてほしい、とらえ直してほしいと、いつもよりも長く話してしまいました。(ちょっと反省・・・)



来週4日(月)からいよいよ本格的に体育大会練習が始まります。

がんばれ、ふんばれ、養父中生！ 「一生懸命はかっこいい」を合い言葉に、まずは体育大会まで全校生一丸となって突っ走れ！ スロースタート期間は終わりました。

養父中ブランディング計画 進行中

遠足に行こう!

ここ数年のコロナ禍の影響で、子どもたちの感動体験が少なくなってきてはいないだろうか。学校生活にも潤いが乏しくなってきてはいないだろうか。そんな問題意識もあって、今年度、市の「YABUスクールチャレンジ事業」等を活用して、各学年でおよそ半日の校外活動を計画しています。

正式には「ふるさと・キャリア教育に係る校外学習」という取組名ですが、「楽しみ」と「なつかしさ」をアップするため、通称「遠足」と呼び合っています。学習の場を校外に移し、地域の方にご協力いただきながら、ふるさと養父市のよさを感じ、未来のふるさと創りに提言していけるような活動になればと、各学年で企画を進めています。

早速、2年生が明日9月1日(金)に建屋地区の能座に出向き、スマート農業の実際に体験してきます。その後、齊神社まで足を運び、そこでお弁当を食べてから帰校し、後は学校にて授業というプランになっています。

2学期中の季節のよい時をねらって、3年生は鉢伏高原に、1年生は名草神社に出かけようとしています。(名草神社プランは、先般の台風7号による被災道路の復旧状況によっては行き先を変更するかもしれません。)



生徒と教員が一緒になってお弁当を食べ、語り、少し遊んだりしながら、普段とは違う楽しいひと時を過ごすことも、この取組の大きなねらいとしています。とは言え、遠足になくってはならない「おやつ」は持参しませんので、そこはご了承ください。

「数学・理科甲子園ジュニア2023」の様子

こんな感じでした。来年度の2年生からもチャレンジャーが出てきてくれるかな?



<筆記競技 45分・3問>

ど
ち
ら
の
競
技
も
一
人
で
取
り
組
む
の
で
は
な
く、
三
人
で
協
力
し
て
取
り
組
み
ま
す。



<実技競技 105分・制作実験>

<養父市一斉避難訓練への参加について>

9月3日(日)は、養父市一斉避難訓練が行われる日です。本校としましても、当日は部活動等の教育活動の実施はせず、生徒が各地区での訓練に参加しやすいように配慮しています。

中学生はすでに地域住民の一員として立派に役割が果たせる「地域の担い手」です。その自覚を高めるためにも、この訓練は絶好の機会です。ぜひ、学校や家庭から地域の場へとお子様を移し、地域活動に参画させていただきますよう、よろしくお願いいたします。

ところで、9月1日は「防災の日」となっていますが、どうしてでしょう。

それは今から100年前の1923年(大正12年)9月1日にあの関東大震災が発生したことに由来しています。そこでこの日は、これまでの大災害を振り返り、今後の災害に適切に備えていくための日として設けられていて、養父市でも、その日に準じて、今年度は9月3日(日)の10時から訓練が行われます。



生徒たちが各地区での訓練に参加し、地域の方々とさらに「顔なじみ」になることが災害対応の第一歩かと思います。また、100年前に生じた関東大震災について少しググってみて、当時の状況を知り、学ぶ日にするのもいいかもしれません。

くれぐれも、「起きたら訓練はすでに終わっていた」なんてことないようにお願いします。